

障 サ 第 1346 号
令和 7 年 5 月 16 日

指 定 障 害 者 支 援 施 設
指定障害福祉サービス事業所
指 定 障 害 児 入 所 施 設
指定障害児通所支援事業所

管理者様

(鎌倉市、小田原市、三浦市、秦野市、座間市、南足柄市、大井町、山北町、湯河原町)

神奈川県福祉子どもみらい局
福祉部障害サービス課長
(公 印 省 略)

令和 7 年度災害時情報共有システムの訓練実施について (通知)

本県の障がい福祉行政の推進につきまして、日頃より格別の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、令和 7 年 5 月 2 日付けにて厚生労働省から標記訓練の実施についてお知らせがありました。

つきましては、お忙しいところ恐れ入りますが、下記のとおり御対応いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 訓練実施日時
令和 7 年 5 月 23 日 (金) 午前 10 時 00 分～午後 3 時 00 分 (想定災害：豪雨)
- 2 訓練実施自治体
鎌倉市、小田原市、三浦市、秦野市、座間市、南足柄市、大井町、山北町、湯河原町
※ 上記自治体に所在する全ての事業所が対象となります。
- 3 訓練参加要領
別記「訓練参加要領」のとおり。

問合せ先
障害サービス課福祉施設グループ
電話 045-210-1111 (内線 5082)
メール ken-shisetsu@pref.kanagawa.lg.jp
担当 新藤、山田

訓練参加要領

1 訓練当日の作業

(1) 訓練当日の事業所における作業

訓練開始（発災）後、国の指示に基づき、県から事業所宛に「被災状況報告指示メール」を一斉送信します。このメールに記載されたURLから障害者支援施設等災害時情報共有システム（以下「システム」という。）にアクセスし、事業所の被災状況を入力（仮想で構いません。）してください。

- ※ 被災状況報告メールはシステム上に事前登録されたメールアドレス宛に送付されます。
- ※ メールアドレスの登録については、後述の「2 事前準備」にて詳細を示します。
- ※ 被災状況の入力にはID・パスワード等は不要です。
- ※ 被災状況の入力がない場合は市町村または県から連絡がある場合があります。
- ※ 事業所の訓練としては原則被災状況の入力をもって終了となりますが、入力内容について国からの指示等に基づき市町村または県から連絡がある場合がありますのでご了承ください。

(2) 訓練想定の流れ

別添「別紙2 災害想定訓練当日の流れ」をご覧ください。

(3) その他

本訓練は、大規模自然災害時における被災状況報告の手順を体験する貴重な機会となりますので、入力画面などを極力複数人で御確認いただきますようお願いします。

2 事前準備（必ず訓練前日までに作業を終えてください。）

(1) 登録メールアドレスの確認

システムは「障害福祉サービス等情報公表システム」（以下「WAM NET」という。）から連携されるため「WAM NET」に登録されている施設情報は自動で災害時情報共有システムに登録されます。

- ※ 「WAM NET」にシステムからの連絡先メールアドレスが未登録（過去に登録後、メールアドレスを変更した場合に変更登録をしていない場合も含む。）である施設は速やかに登録を行ってください。未登録であると「被災状況報告指示メール」を受信できず、

被災状況の報告ができません。

「WAM NET」の登録で不明な点は以下担当にお問い合わせください。

障害福祉サービス等情報公表システムの登録に関すること

担当：障害サービス課 監査グループ（045-210-4736）

（２）災害時緊急連絡先の登録について（任意ですが、可能な限り登録をお願いします。）

大規模災害時においても被災状況の報告が可能となるよう「災害時緊急連絡先」の登録をお願いします。

- ※ 被災状況報告指示メールは「システムからの連絡先メールアドレス」及び「災害時緊急連絡先」に一斉送信します。
- ※ 「システムからの連絡先メールアドレス」は（１）で示したとおり「WAM NET」に登録されているメールアドレスです。
- ※ 「災害時緊急連絡先」は事業所単位でシステム上において別途登録が必要です。
- ※ 「災害時緊急連絡先」は各事業所２件まで登録が可能です。大規模災害時等に確実に情報を受信できる連絡先の御登録をお願いします。なお、法人内の人事異動等で連絡先の変更がある場合はその都度変更を忘れないようご確認ください。
- ※ ライフラインの停止等を想定し、災害時緊急連絡先としてスマートフォンのメールアドレスを登録することで被災状況報告をスマートフォンから入力することができます。必要に応じて災害時緊急連絡先として登録をお願いします。
- ※ 「災害時緊急連絡先」の登録方法は、後述する「システムの施設向け操作説明書等について」をご覧ください。

大規模災害によるライフラインの停止等に備え、複数の連絡先の登録をお願いします。

（３）システムの施設向け操作説明書等について

システムの施設向け操作説明書は以下のページにて、確認することができます。緊急連絡先の変更の方法等の記載もありますので、各事業所管理者の方は御確認ください。

（URL）<https://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/saigaisysshofuku/jigyo/>

3 その他留意事項

(1) 本訓練の趣旨

本訓練は、実際の大規模自然災害時と同様の手順を確認するものです。

障害者支援施設等を含む社会福祉施設は、災害時に配慮が必要な方が多く利用しています。過去の災害においても社会福祉施設が被災することで利用者が犠牲になった事例がありました。大規模災害時にはライフラインが停止するなど、施設利用者の生命を保護するために行政等からの適切な支援が欠かせない状況が想定されます。そうした支援の必要性を行政が迅速に把握するためにも、国、県及び市町村が被災状況を統一的に確認できる唯一のシステムである本システムの活用により被災状況の御報告について御協力をお願いしているものです。本趣旨を御理解いただき、参加に御協力いただきますよう御願い申し上げます。

(2) 被災がない場合の被災状況の登録について

県から「被災状況報告指示のメール」を受信した場合は、被災が無い場合であっても必ず御入力をお願いします。

- ※ 被災状況報告指示のメールは、県内で大きな地震が発生した場合や台風接近時等に国からの依頼等に基づき県から施設宛に送信します。
- ※ 「被災あり」と入力された場合や未入力である場合は、県や市町村から状況確認のため直接連絡することがあります。